



# 自治研活動「コロナ禍における労働組合の生活困窮者支援 地域とつながり、 組合員との信頼をはぐくむ」

西東京市職労・  
西東京自治研センター

終わりの見えないコロナ禍において、困窮する市民への支援は自治体の大きな課題となっている。西東京市職労では、SDGs推進を運動方針に盛り込み、フードドライブやフードパントリー、子ども食堂を運営する団体への支援、労働組合としての地域温暖化対策「COOL CHOICE」宣言など、地域の「まちづくり」を推進している。今回の取り組みを取りつづかせる中で自治研活動として地域と関わる活動を行うきっかけ、労働組合がなぜ地域貢献活動に取り組みか、その意義について、西東京市職労の町田委員長と西東京自治研センターの後藤理事長をお話を伺った。



▲西東京市職労町田委員長(左)、西東京自治研センター後藤理事長(右)



▲西東京市への食料提供の際、西野副市長と後藤さん

西東京市職労は、2015年12月に西東京自治研センターを設立し、市民とともに「地域包括ケアシステム」地域共生社会の実現「被災地支援」子ども条例の制定「貧困支援」等の課題を中心に、「地域づくり」に関わる様々な行政課題を市民協働で進める自治研活動を展開してきた。

市民は職員が協賛することで安心感を持って、組合員は様々な市民とコミュニケーションの機会を得ることで行政の窓口だけでは知り得ない「市民の困りごと」に接することができ、そこから行政への相談に結びつけることもできるメリットもあるという。

連帯団体が運営する子ども食堂への支援では、障害者支援に従事する組合員が手作りマスクを作ったり配布したり、クリスマスの際には、子ども食堂に来る子どもたちに向けて、児童館職員との協力のもと、クリスマスソングを作るなど、単なる食料支援にとどまらない活動となった。

労働組合の社会貢献活動に自分の時間を使うという点については、ともすれば「市民と行政を繋ぐきっかけを労働組合から」

後藤さんは、「自治研活動は単なる研究の場ではないと思う。「市民と一緒に実践する場」として活かしてほしい」と語る。労働組合だからこそできる活動の幅を活かして、市民と行政を繋ぐ。地域のニーズを自治体がしっかり掴み、それぞれの地域に合った政策を作っていくことが大事な時代。そのきっかけづくりを労働組合が担えたい。自分たちの取り組みが政策として形になっていたら活動の満足度はより高くなる」と後藤さんは述べた。

休業などの影響が広がる、日々の食事に困窮する家庭が増えていることを踏まえ、市職労主催の「フードドライブ」※家庭などで余っている食料を廃棄するのではなく、必要としている人へ届ける活動の取り組みや、西東京市が実施する「若者学生向け食料支援」への協力などの支援を積極的に実施している。

市民は職員が協賛することで安心感を持って、組合員は様々な市民とコミュニケーションの機会を得ることで行政の窓口だけでは知り得ない「市民の困りごと」に接することができ、そこから行政への相談に結びつけることもできるメリットもあるという。

連帯団体が運営する子ども食堂への支援では、障害者支援に従事する組合員が手作りマスクを作ったり配布したり、クリスマスの際には、子ども食堂に来る子どもたちに向けて、児童館職員との協力のもと、クリスマスソングを作るなど、単なる食料支援にとどまらない活動となった。

労働組合の社会貢献活動に自分の時間を使うという点については、ともすれば「市民と行政を繋ぐきっかけを労働組合から」

後藤さんは、「自治研活動は単なる研究の場ではないと思う。「市民と一緒に実践する場」として活かしてほしい」と語る。労働組合だからこそできる活動の幅を活かして、市民と行政を繋ぐ。地域のニーズを自治体がしっかり掴み、それぞれの地域に合った政策を作っていくことが大事な時代。そのきっかけづくりを労働組合が担えたい。自分たちの取り組みが政策として形になっていたら活動の満足度はより高くなる」と後藤さんは述べた。

労働組合の取り組みが、業務に活かされ、政策として具体化して社会に広がり、条件にも自分たちの労働案件にもつながっていく。そのつながりを実現できることで、地域に関する活動を「自分事」として捉え、取り組んでいけるのではないだろうか。

町田委員長は、若い組合員にも活動の輪を広げていきたいと語る。「若い世代の皆さんは、即戦力として働くことが求められる状況で、余裕がなくなっている。なかには組合の活動に関して前向きにならない状況もあるが、近い先輩などと一緒に話をしながらあれば取り組んでくれることも多い」と話し、労働組合を通して仲間同士の信頼関係を構築しながらまちづくりの面白さも実感することができるとした。コロナ禍でも、人と人の結びつきを大切にし、組合員がコミュニケーションをとれる環境を作っていきたいと語った。

# 都本部2022旗開き 春闘・参院選へ団結。東日本大震災から10年、被災地へ思いを寄せる



▲都本部旗開き対面、YouTube配信の併用で開催された(左下)QRコード、記録映像「東日本大震災から10年～福島県被災地視察から考える復興、公共のあり方～」

都本部は1月13日(木)、アルカディア市ヶ谷にて2022年旗開きを対面・YouTube併用で開催し、自治労本部の川本中央執行委員長、連合東京の杉浦会長、岸まさき参議院議員、そしてご来場された組織内・準組織内・政策協力議員の皆様より新年のご挨拶をいただいた。染委員長は、年頭の挨拶で、2022年春闘、そして今夏の参院選に向けて、組織内候補予定者の「鬼んまこと」さんの必勝へ、都本部一丸となって取り組む決意を表明した。今回は、新たな試みとして自治労福島県本部の協力のもと作成した記録映像「東日本大震災から10年」の放映で、2022年春闘、そして今夏の参院選に向けて、組織内候補予定者の「鬼んまこと」さんの必勝へ、都本部一丸となって取り組む決意を表明した。

# 連合東京 共生社会、持続可能な連合運動の実現を

▲新年の挨拶を述べる連合東京・杉浦会長

「東日本大震災から10年」福島県被災地視察から考える復興、公共のあり方」を上映した。10年を節目に震災・原発災害を風化させないという思いから、現地視察を実施し、福島県本部の澤田中央執行委員長より

# 自治労女性部 「年次有給休暇・生理休暇取得等調査」を実施 1月～3月「働く女性の権利確立運動強化月間」

- (1) 調査名 2022年度年次有給休暇・生理休暇取得等調査
- (2) 目的 安心して健康で働き続けられる職場環境への要求・改善へつなげる
- (3) 調査方法 「年次有給休暇・生理休暇取得等実態調査票」への記入
- (4) 集約 各単組・女性部を通じてご協力をお願いします。

点検し、誰もが職場で抱えている悩みを、個人の問題として終わらせるのではなく、「みんなの問題」として安心して健康で働き続けられる職場環境への要求・改善へとつなげていくことを目的としている。働く女性の権利確立に向け、各単組、女性組合員の皆さんへの調査への協力をお願いします。

点検し、誰もが職場で抱えている悩みを、個人の問題として終わらせるのではなく、「みんなの問題」として安心して健康で働き続けられる職場環境への要求・改善へとつなげていくことを目的としている。働く女性の権利確立に向け、各単組、女性組合員の皆さんへの調査への協力をお願いします。

# 開催告知 第3回都本部2021自治研連続学習会

都本部はこれまで、2回に渡り「災害対応」、「LGBTQ+」をテーマに学習会を実施してきた。連続学習会の最後となる第3回は、「貧困」をテーマに開催する。

- 日時 2022年2月12日(土) 13時30分～16時00分
- 講演 「コロナ禍におけるシングルマザーの貧困問題」
- 講師 赤石 千衣子さん(NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長)
- 単組報告 西東京市職員労働組合 副執行委員長 後藤 紀行さん

# 新春読者プレゼント

◎今年は1,179通の応募(1/28現在)があり、2月中旬に都本部所内で厳選な抽選を行います。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。たくさんのご応募ありがとうございました。

今年も元気いっばいの組合活動をどうぞよろしくお祈りします。

A	B	C	D	E	F	G
し	ん	き	い	つ	て	ん

(心機一転)

た	な	ば	た	え	ほ	う	ま	き	か
ん	う	み	の	ひ	わ				き
こ	え	な	こ	い	の	ぼ	り	つ	て
せ	つ	ぶ	ん	は	ま	も	う	と	し
つ		せ	り	い	こ	う	し	え	ん
く	り	ひ	る	い	ぼ	ん	ご	ー	る
							で	ん	う
							い	ー	く

## 2020年7月1日より金利引下げ! さらにご利用しやすくなりました!

### 奨学金を返済中の方、必見!

# 奨学金の返済計画の見直しを お手伝いいたします!

## 教育ローン [証書貸付型] 固定金利型

お問い合わせ・ご相談は  
〈中央ろうきん〉へ取次ぎをご希望の方は組合事務所まで

商品・サービスの詳細については  
〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください  
2021年7月1日現在

### 無担保ローン Web仮審査実施中!

24時間、いつでも、お気軽に。  
中央ろうきん 検索  
https://chuo.rokin.com

## 団体生命共済

5120F032

# ライフステージに合わせて、毎年保障を見直そう!

自分にはこの保障...あっているのかな...?という方も安心! 団体生命共済なら、1年更新なので、ライフステージに合わせて毎年保障も見直すことができます。

### くみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

## 自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生命として共済事業を営み、相互扶助の精神のもとで、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生活協同組合となることで各種共済制度をご利用いただけます。

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

結婚、出産、マイホーム

不明な点があれば、まずは組合にお問い合わせください!

